

ガザ戦争

暴力の応酬の背景と今後の行方

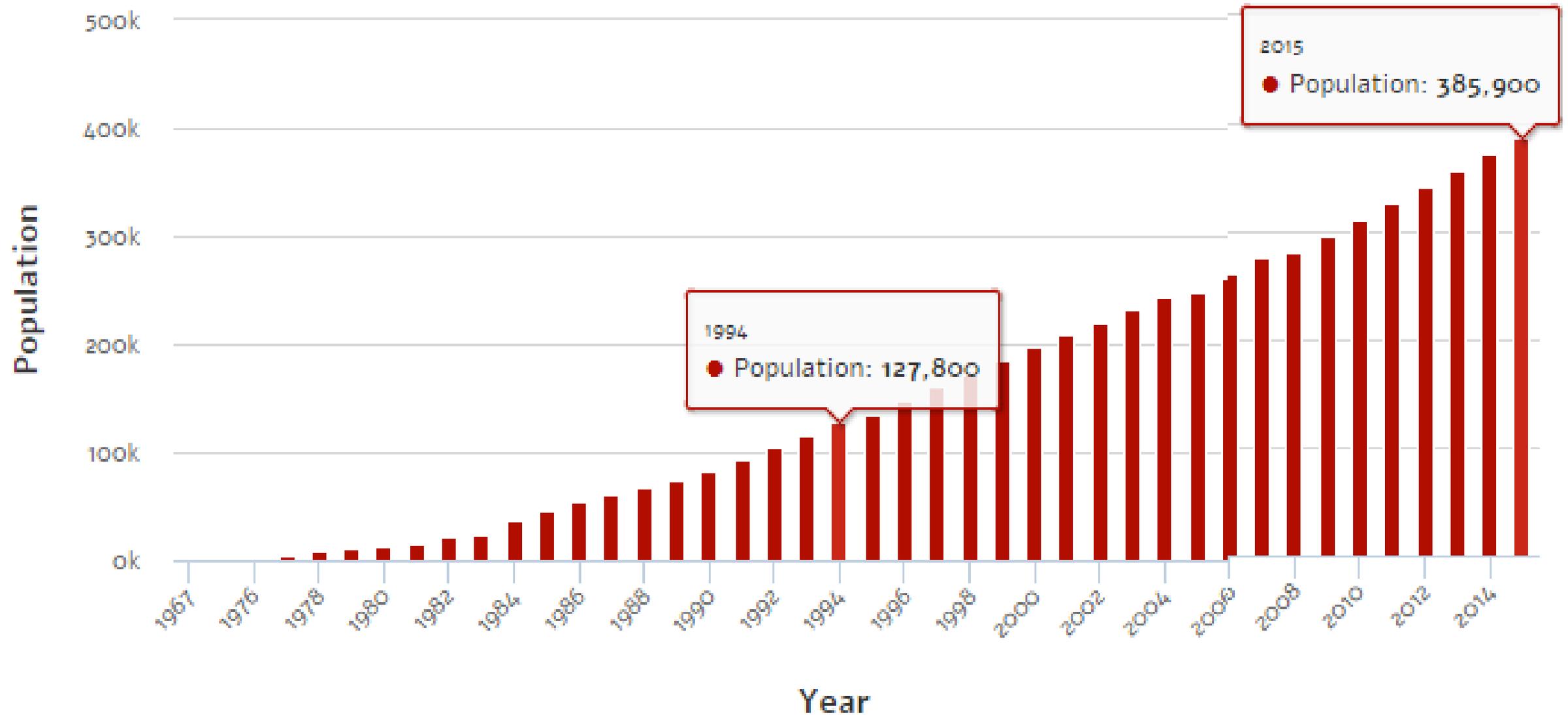
中東ジャーナリスト

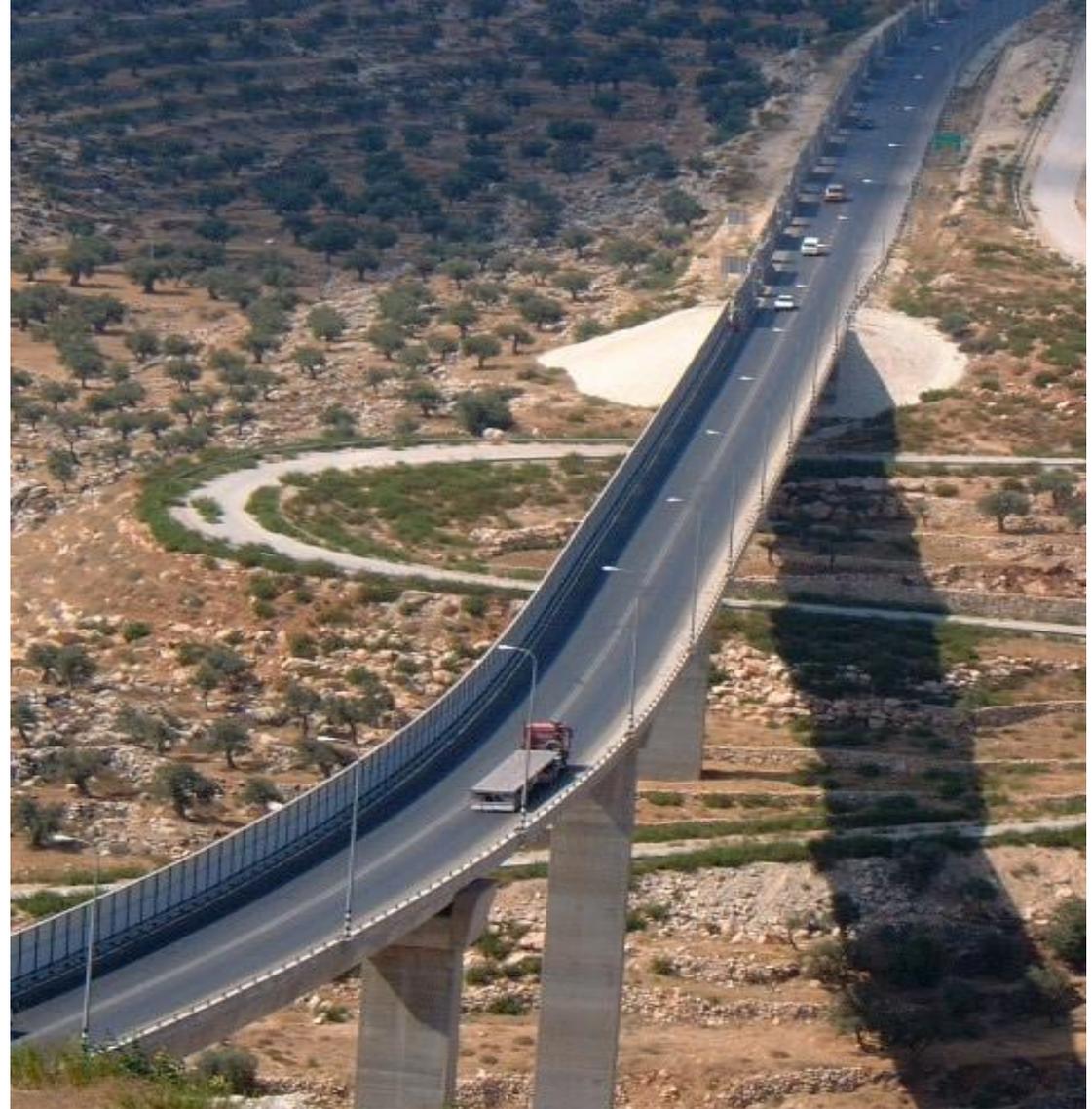
川上泰徳



Number of Settlers by Year

Source: ICBS, East Jerusalem excluded





■ヨルダン川西岸のユダヤ人入植地：西岸には270万人のパレスチナ人が住んでいます。そこに国際法に違法する120か所以上のユダヤ人入植地があり、50万人のユダヤ系イスラエル人の入植者が違法に住み着いているということです。入植地の建設は、イスラエルの占領の象徴となり、中東和平の大きな妨げとなっています。ネタニヤフ首相は一貫して入植地拡大政策をとり、イスラエルとパレスチナが共存する和平を阻んできたイスラエルの政治家です。



Source: UN Ocha, 2020



イスラエル軍は2005年にガザの中から撤退。軍隊をガザの外に移動させただけで、外から包囲しており、空も、海もガザの人々の主権はなくイスラエルが支配しており、イスラエルの占領は続いている。

ガザ自治区

海岸線 41キロ、幅 6キロ～12キロ

人口 230万

年齢中央値 18歳

▽2006年、ハマスがパレスチナ自治評議会選挙に参加して、ヨルダン川西岸を併せて全体で議席の過半数を得て、単独で自治政府を発足させた。その後、ファタハとの連立ができたが、2007年にハマスがファタハが押さえていた治安部門を排除し、ガザを実効支配。⇒イスラエルがガザに経済封鎖を課し、現在に至る。

イスラエル・ガザ間の4回の大規模軍事衝突

	2008年12月末— 2009年1月中旬	2012年11月	2014年 7月8日—8月26日	2021年 5月10日—21日
期間	23日	8日	50日	11日
うち地上戦	16日	(なし)	20日	(なし)
死者				
パレスチナ側	1,400人	160人	2,130人	256人
イスラエル側	10人	5人	71人	13人
ガザからのロケット発射数	780発	1,500発	4,560発	4,360発
停戦	双方の 一方的停戦	エジプト、米 による仲介	エジプト による仲介	エジプト による仲介

(注) 2021年5月10日から21日の間に東エルサレムとヨルダン川西岸でもパレスチナ人27人が死亡した。

(出所) 国連、ガザ保健省、イスラエル軍、各種報道。

ハマス

(「イスラム抵抗運動」の略)

1960年代、70年代はイスラム的な社会運動を行う組織であった。

1987年12月に第1次インティファダ（反占領民衆蜂起）が始めると、ヤシン師らイスラム運動のリーダーが集まって「ハマス」を結成。

1993年 イスラエルとPLOとのパレスチナ暫定自治協定（オスロ合意）を拒否。

1994年 イスラエルに対する武装闘争、主に殉教作戦（自爆作戦）・テロを実施。

2000年ー2005年 第2次インティファダで、自爆テロを激化

2004年 ハマスの中でイスラエルの占領地撤退と引き換えに「ホドナ（長期的停戦）」を探る動き。

2006年 パレスチナ自治評議会に参加 過半数の議席を取得

2007年 ガザを実効支配

2017年 ハマスの綱領を修正して、1967年の第3次中東戦争以前の境界で、完全な主権を持つパレスチナ独立国家が生まれることは、「民族のコンセンサス」とみなす。実施的にイスラエルとの共存受け入れ。

社会部門：貧困救済、孤児救済、診療所などをガザで幅広く活動を行う。草の根的な活動

政治部門：政治的なリーダー、交渉、選挙への参加、自治政府の行政の担当

軍事部門：カッサム軍団 3万人から5万人の規模。軍事拠点も戦闘員も秘密：見えない軍隊

※政治部門と軍事部門は、どちらかがどちらかを指導する体制ではなく、独立した指導体制